

自ら学び続ける教職員研修支援事業 活動報告書

グループ(学校)名 高山市立江名子小学校

テーマ 吃音や障がいのある子をもつ親として

取組のポイント・成果

取組の内容とポイント

5月23日 講師派遣依頼

7月 講師との打ち合わせ

7月上旬 職員事前アンケート配付

アンケート内容：「①吃音について知っていること」、「②特別な支援を要する児童やその保護者と関わる際に意識していること」

7月29日 研修当日 講義と交流

講師の帆ノ下さんと、その奥様の講義とグループ交流の実施

7月30日 事後の感想とアンケート配付

アンケート内容：今後研修したい内容や特別支援に関する専門家の情報について

8月5日 福祉施設の見学依頼

8月23日 福祉施設の見学

施設の説明や方針等の説明と、実際の作業場の見学と体験、質問等

11月20日 実践発表

12月26日 研修に関する職員アンケート実施

成果

- ・実体験としての話を聞き、障害児自身や保護者の立場で教育について考えることができた。
- ・事前アンケートと事後の感想から、職員の意識の変容が見られ、支援児童に対して将来社会に出ていくことを見据えた教育が必要であるという意識が高まった。
- ・講師の方の申し出がきっかけで、計画していた研修だけでなく他の施設への見学が実現し、より深い学びになった。
- ・事後のアンケートから、さらに職員が知りたいと思ったことや、知りたいことを提供してくれそうな事業者や専門家の情報が得られたため、来年度の研修計画に生かしていきたい。



今後の課題

- ・今回の講師の方や施設とのつながりを大切にして、今後も地域の福祉や特別支援に関する研修を取り入れていきたい。
- ・まとまった時間を取るだけでなく、負担にならない程度に少しずつ時間を確保し、職員のニーズに合わせた研修を計画していきたい。